



Hikone Castle Town
彦根城を世界遺産に

名勝

青岸寺庭園

彦根城とともにあるべき庭園

青岸寺は、延文年間（1356-1361）に、佐々木道誉によって建立された米泉寺に起源があり、兵火で焼失後、慶安3年（1650）に再興された。

延宝5年（1677）、彦根城内において玄宮園の作庭が開始される。この時、青岸寺から庭園の石材が供出された。翌年、玄宮園が完成した後、玄宮園の作庭者である香取某氏が、改めて青岸寺の庭園を造った。

青岸寺は井伊家の信仰も篤く、彦根城・玄宮園とともにあるべき庭園だ。

米原駅下車



Hikone Castle Town
彦根城を世界遺産に

多賀大社

彦根藩主の信仰を集めた神社

近江を代表する古社の一つで、イザナギノオオカミ・イザナミノオオカミの2神をまつる。江戸時代、庶民の間で、お伊勢参りが大流行。「お伊勢参らば、お多賀へ参れ…」。天照大神の両親を祭神とする多賀大社は、その往路・復路に参るべき神社として、多くの参詣者を集めた。

井伊家も篤く崇敬し、1651年の直孝による社領150石の寄進をはじめ、1808年の本殿再建の助力など、井伊家の手厚い保護を得た。

多賀大社駅下車



Hikone Castle Town
彦根城を世界遺産に

井伊家と並び立つ武将

藤堂高虎

甲良町出身の築城の名人

甲良町出身の人気戦国武将。

信長・秀吉・家康の3代に仕え、伊勢・津藩32万石の基礎を作った。津は、江戸と大坂を結ぶ重要な拠点。その意味からも井伊家に並び立つ武将としての実力がわかる。

城づくりに定評があり、津城以外にも、丹波篠山城や今治城など、高虎スタイルの城郭は統治の重要拠点に多い。

出生地の甲良町在士には、天下をにらむ高虎像がある。



Hikone Castle Town
彦根城を世界遺産に

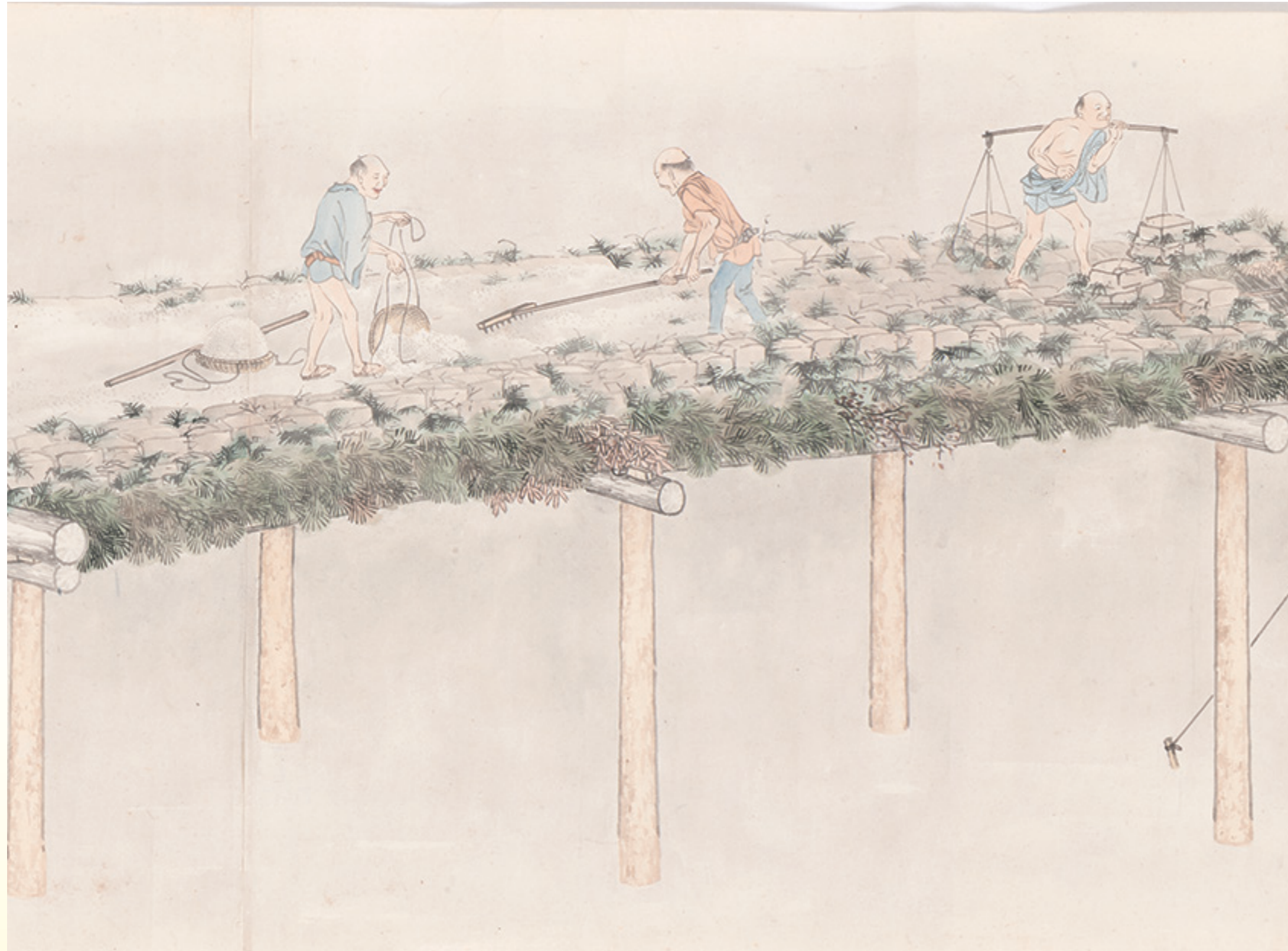
滋賀県指定名勝

あじき
阿自岐神社庭園

豊かな農村の水への祈り

その創建は明らかではないが、平安時代の「延喜式」にも記された由緒のある神社。犬上氏が創建に係わったとする説や、百濟から渡来した「阿直岐氏」との関係も考えられる。事実、付近には渡来系氏族との関係を示す遺跡も多い。その神域に営まれた庭園の池は、扇状地端部付近からの湧水を利用した古い形式で、水への感謝、祈りが、庭園に表現された。こうした歴史の積み重ねが、彦根藩の繁栄へつながっていく。

豊郷駅下車



愛智河架橋絵巻（部分）・愛荘町立歴史文化博物館蔵



Hikone Castle Town
彦根城を世界遺産に

無賃橋

愛知川を渡る

川には橋が架かっている。これは当たり前のことではない。
琵琶湖へ流れる川の一つ、愛知川。江戸時代には、当初この川には橋が架けられなかった。
川を渡るには、川越人足の利用が不可欠で、16文から50文までの料金が定められ、
有力な大名行列では、仮橋が架けられることもあった。
1829年、成宮弥次右衛門と塚本助一らは、無料で渡れる橋の建設を計画。
資金調達や保証などの苦勞の末、1831年、完成。